

令和4年度都市・農山漁村の地域連携による子供農山漁村交流推進支援事業の概要(例)

〇〇県
〇〇市
【送り側】

〇〇県
〇〇町
【受入側】

交流を始める動機：
特徴：

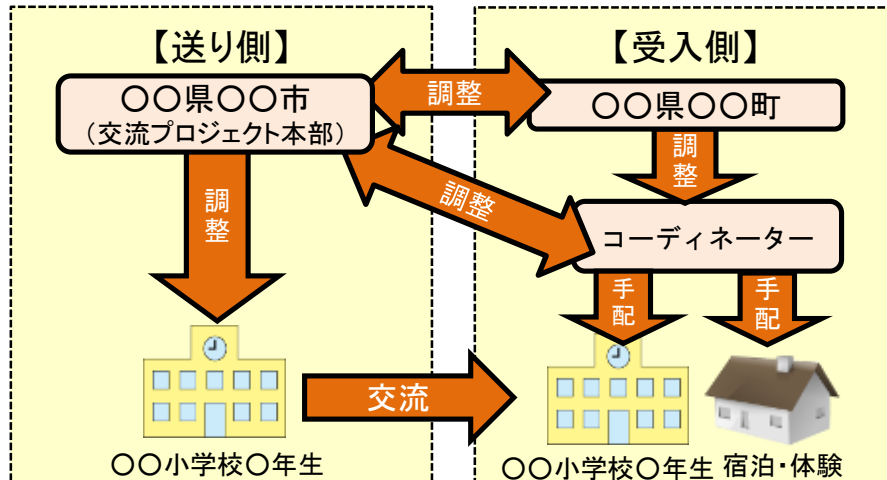
送り側の要点

- ◆環境：都市部
- ◆現状・課題
 - ・〇〇市は住宅都市で、児童は農業に接する機会が少ない。
 - ・食材の栽培の苦労などについて、児童が自ら学ぶ機会や場がない。
- ◆組織名：〇〇市交流プロジェクト本部
- ◆コーディネーター：〇〇〇〇
 - ・主な役割：企画立案、運営、安全管理、引率(送り・受入)

受入側の要点

- ◆環境：農山村
- ◆現状
 - ・少子高齢化、過疎化の進行による人口減少が進んでいる。
 - ・農業が産業基盤
- ◆組織名：〇〇町農山漁村交流推進委員会
- ◆コーディネーター：〇〇〇〇
 - ・主な役割：企画立案、運営、安全管理、引率(送り・受入)

連携体制



交流の要点

- ◆日程：令和4年〇月〇日～〇月〇日（〇泊〇日）
- ◆宿泊・交流・体験の概要
 - ・宿泊形態：集団宿泊施設＋農家民泊
 - ・交流：町役場訪問、〇〇小学校〇年生との交流
 - ・体験：〇〇〇見学、〇〇〇〇施設見学
〇〇体験、〇〇〇製作体験、〇〇体験、
 - ・オンライン交流：ふりかえりワークショップ等
- ◆参加者
 - ：対象（〇〇小学校〇年生・参加人数〇〇名）
- ◆募集方法
 - ：〇〇小学校〇年生全員を対象